

TM通信 学ぶ喜び VOL.9 2025.8.25

ー仲間とともにつながる学校へー

授業改善に向けた具体的方策をもう一度ご確認ください

- ① 授業のめあてをしめす（設定のしかた・魅力ある課題の工夫）
- ② ペア・グループなど、話し合いの場面を設定する（協動的・多面的に学ぶ）
- ③ 既習事項、他教科や日常生活との結びつきを意識できるよう働きかける。（深い学びへ）

いよいよ2学期が始まります。この夏休みを経て、私たちが目指すのは、子どもたち一人ひとりの「学びに向かう力」を最大限に引き出す、新しい授業の創造です。今年度から本校が委託を受けている大阪府SE事業は、この授業改善の大きな柱となります。単なる新しい知識の導入ではなく、子どもたちの主体的な学びを促し、これからの時代に求められる資質・能力を育むための「令和の日本型教育」への転換を、みんなで一緒に進めていきたいと考えています。

「授業」は、私たち教職員にとって最大の武器であり、子どもたちと向き合う時間そのものです。だからこそ、教職員が授業について語り合い、学びを深めることが、未来を担う子どもたちの成長につながると信じています。

この思いを共有し、実践へとつなげるため、下記の日程で研究授業と授業案検討会を実施いたします。ぜひ授業案検討会にご参加いただき、活発な意見交換をお願いいたします。

【今後の予定】

授業案検討会：8月26日(14:00@校長室) 研究授業：9月3日

アンケート結果から見えた成果と課題

7月に実施いたしました教職員・児童生徒アンケートの結果がまとまりましたので、報告させていただきます。4月当初からの変化を検証したところ、先生方の主体的な学びや、子どもたちの思考を深める取り組みが着実に成果を上げていることが明らかになりました。

（詳しい数値・考察・改善への手だてはロイロ→職朝→TMの中に入っています）

大きく向上した項目

【教職員】・自身の研究テーマをもち、授業や学級経営等の教育活動に活かすため主体的に学んでいる。
・校内では、普段から授業を見せ合う機会がある。

【児童・生徒】

・自分の考えを発表する機会では、自分の考えが相手にうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。

今、改めて取り組むべき課題

一方で、下記の項目では数値が低下していることも明らかになりました。この結果を真摯に受け止め、全教職員で危機意識を共有し、改善を図りたいと思います。

【教職員】・子どもたちが、授業で学んだことを、ふだんの生活や社会につなげて考えるための働きかけをしている。
・授業中、積極的に話し合い活動を取り入れ、意図的に生徒が交流する場面を設定している。
・子どもたち一人ひとりが、個性をいかして活躍する場面を設定している。

【児童・生徒】・授業中、活発な話し合い活動ができている。
・授業で学んだことを、次の学習や他の教科の学習で役立てている。

今年度スクール・エンパワーメント（SE）推進事業
学校公開情報

確かな学びをはぐくむ学校づくり
（TM）推進校→→→



言語能力をはぐくむモデル校
→→→



情報活用能力をはぐくむモデル校
→→→



これらの結果は、日々の多忙な業務の中で、「これからの授業」への意識が希薄になりかけていることを示唆しているのかもしれない。子どもたちの学びの質を高めるためには、私たち教職員自身が自身の授業を見つめ直し、改善に向けた具体的な行動を起こすことが不可欠です。来る9月3日には6月にご講演いただいた泰山先生に実際にお越しいただき、研究授業を行います。また、研究授業に向けて、8月27日には授業案検討会を実施いたします。授業研究を通して、各々が明日からの授業で活かせる具体的な改善策見出せばと考えています。

授業見学のすすめ

校内研修の一環として、他校の授業見学を推奨いたします。

他の先生方の授業を見学することは、ご自身の指導法を見つめ直し、新たなアイデアを得る貴重な機会です。教科指導の工夫はもちろんのこと、ICTの活用方法、生徒との関わり方、クラス運営のヒントなど、多くの気づきがあるはずです。

ご希望の方はPlantや各校の案内に沿ってお申し込みください。また校区内小学校の授業見学は、オープンスクールであるなしにかかわらず、事前連絡で基本的にはいつでもできます。（不明点はTM担当まで）

より効果的に授業をみるために

「なんとなく」ではなく、「〇〇先生のクラス運営を見てみたい」「〇〇小/中の教科の中の探究学習の進め方を知りたい」「児童生徒の学びの現在地/様子を見たい」など、目的を明確にすると、より多くの学びが得られます。

市内・豊能地区内でも研究授業の相互参加が可能な場合もあります。以下に今年度の府内のSE校の授業公開の日程がまとまったものがありますので、ご参考ください。